

平成 26 年度後期 全学教育機構「学生による授業改善アンケート」の結果

評価分析室全学教育機構分室

全学教育機構では、平成 26 年度後期に中間アンケートを行い、学生の要望を確認し、後半の授業が行われた。本結果は、期末に実施されたものによる。

平成 26 年度後期期末「学生による授業改善アンケート」は、以下の 2 とおりの方法により実施された。

- a. 総合人間科学系所属の各教員が担当する授業について授業中に用紙に記入する。
- b. 全授業題目を対象としてウェブ上で記入する。

アンケートの質問項目は、用紙・ウェブともに以下のとおりである。

<アンケート質問項目>

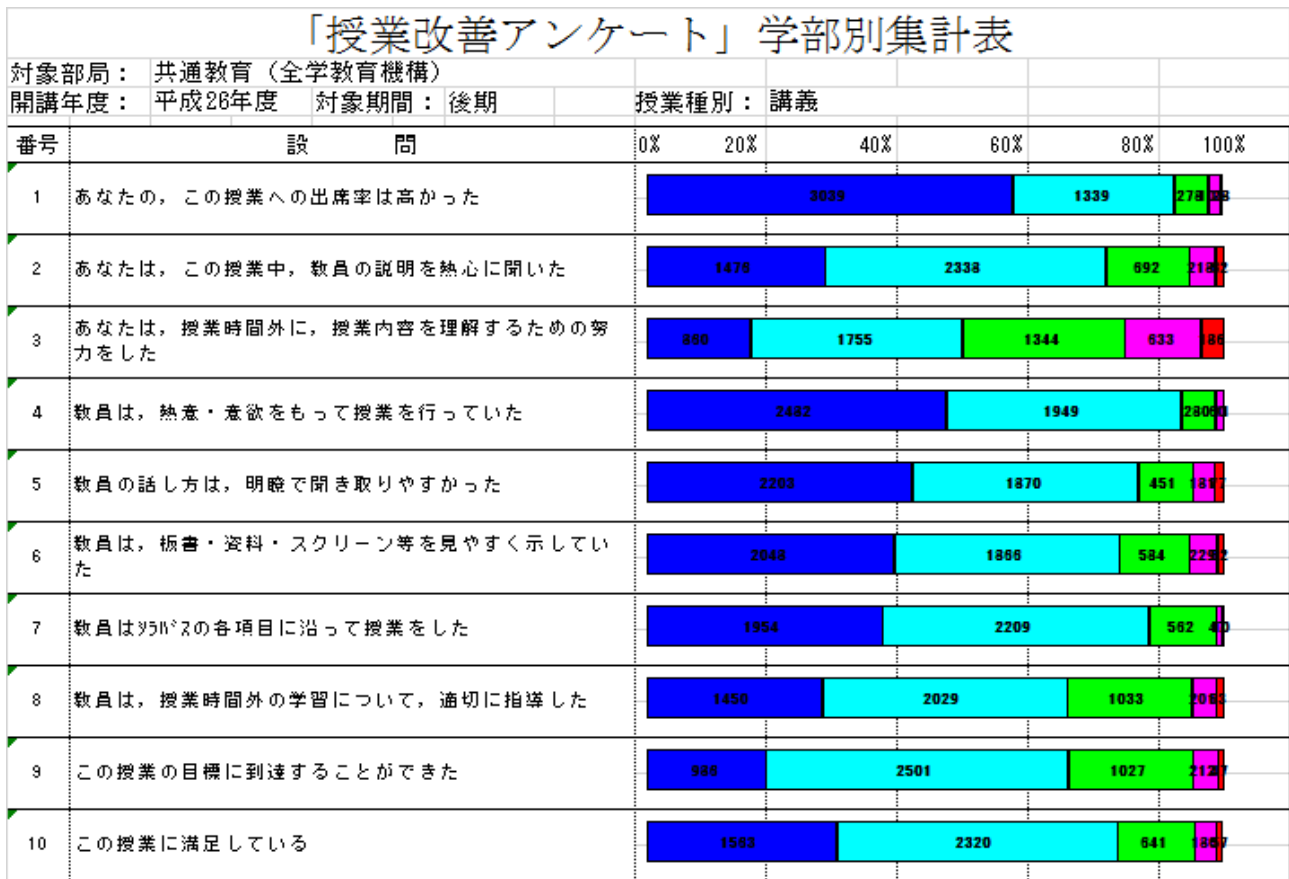
1. あなたの、この授業への出席率は高かった(5択)
2. あなたは、この授業中、教員の説明を熱心に聞いた(5択)
3. あなたは、この授業時間外に、授業内容を理解するための努力をした(予習・復習等)(5択)
4. 教員は、熱意・意欲をもって授業を行っていた(5択)
5. 教員の話し方は、明瞭で聞き取りやすかった(5択)
6. 教員は、板書・資料・スクリーン等を見やすく示していた(5択)
7. 教員は、シラバスの各項目に沿って授業をした(5択)
8. 教員は、授業時間外の学習について、適切に指導した(シラバスでの参考文献の提示等)(5択)
9. この授業の目標に到達することができた(5択)
10. この授業に満足している(5択)
11. この授業について、改善すべきと思う事がありましたら、書いてください(自由記述)
12. この授業について、教員が工夫をしていると思う事がありましたら、書いてください(自由記述)
13. その他、この授業について、意見、要望等がありましたら、書いてください(自由記述)

アンケートの結果は、部門長および評価分析室機構分室員が内容について検討・解析した。以下に回答について、科目群ごとにその結果を報告する。（用紙を使ったアンケートの結果についても、ウェブに取込して集計されている。）

1. 全体に関する結果

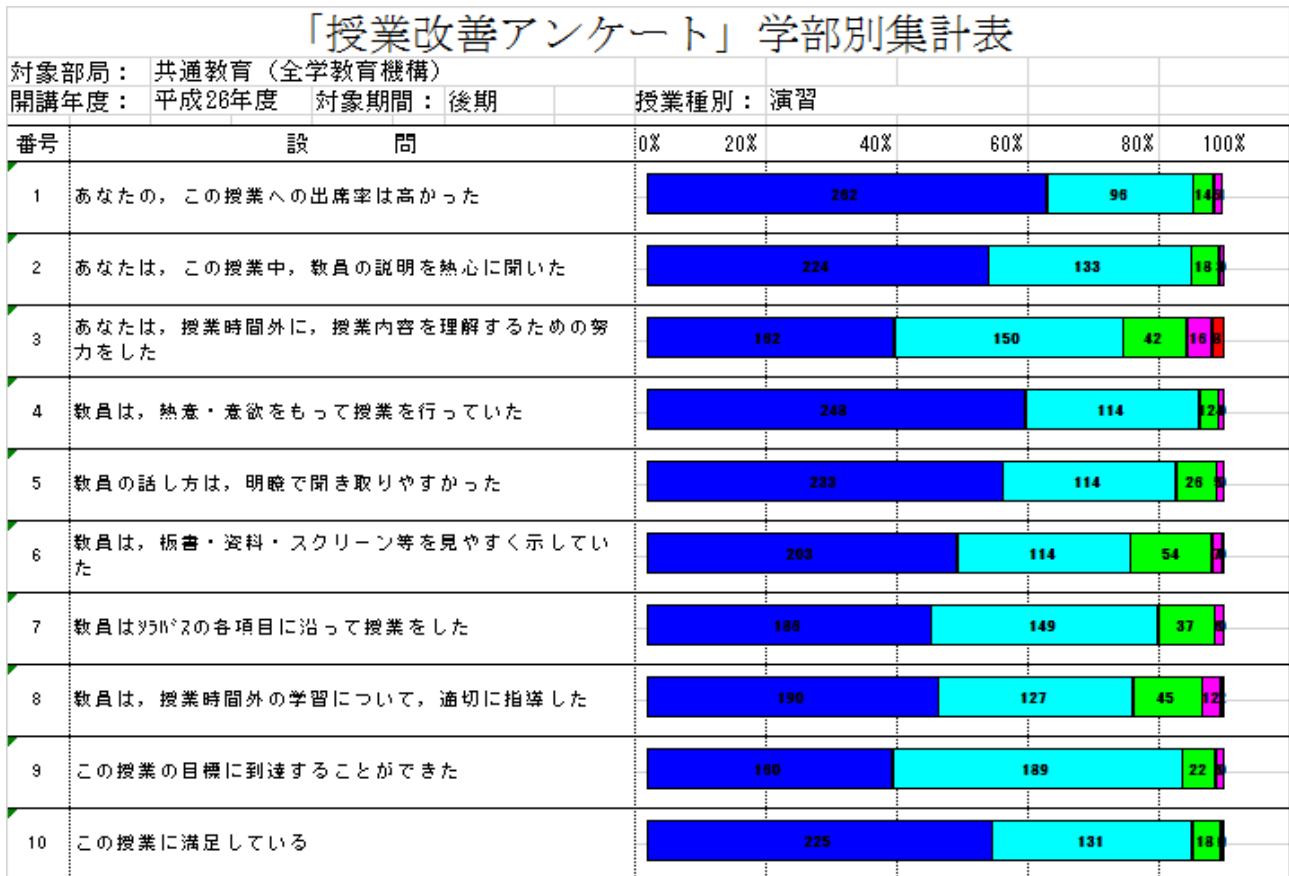
期末アンケートの講義科目、演習科目、外国語科目の集計結果は、図 1～3 の通り。それぞれの受講登録者数/回答者数は、11945/4789、892/378、6681/1772 であり、率にして 38～42% である。昨年度後期期末結果 26～30% より 10% 以上の増加である。出席率の問①の値が、前期期末の 4.6～4.7 から、4.4～4.6 へとわずかに減少している以外は、他のすべての質問項目において、わずかではあるが前期と同等以上の値である。

図1【講義科目】



青：強くそう思う、水色：そう思う、緑：どちらとも言えない、ピンク：そう思わない、赤：全くそう思わない

図2【演習科目】



青：強くそう思う、水色：そう思う、緑：どちらとも言えない、ピンク：そう思わない、赤：全くそう思わない

図3 【外国語科目】

「授業改善アンケート」学部別集計表							
対象部局： 共通教育（全学教育機構）							
開講年度： 平成28年度		対象期間： 後期	授業種別： 外国語				
番号	設 問	0%	20%	40%	60%	80%	100%
1	あなたの、この授業への出席率は高かった						
2	あなたは、この授業中、教員の説明を熱心に聞いた						
3	あなたは、授業時間外に、授業内容を理解するための努力をした						
4	教員は、熱意・意欲をもって授業を行っていた						
5	教員の話し方は、明瞭で聞き取りやすかった						
6	教員は、板書・資料・スクリーン等を見やすく示していた						
7	教員は35分間の各項目に沿って授業をした						
8	教員は、授業時間外の学習について、適切に指導した						
9	この授業の目標に到達することができた						
10	この授業に満足している						

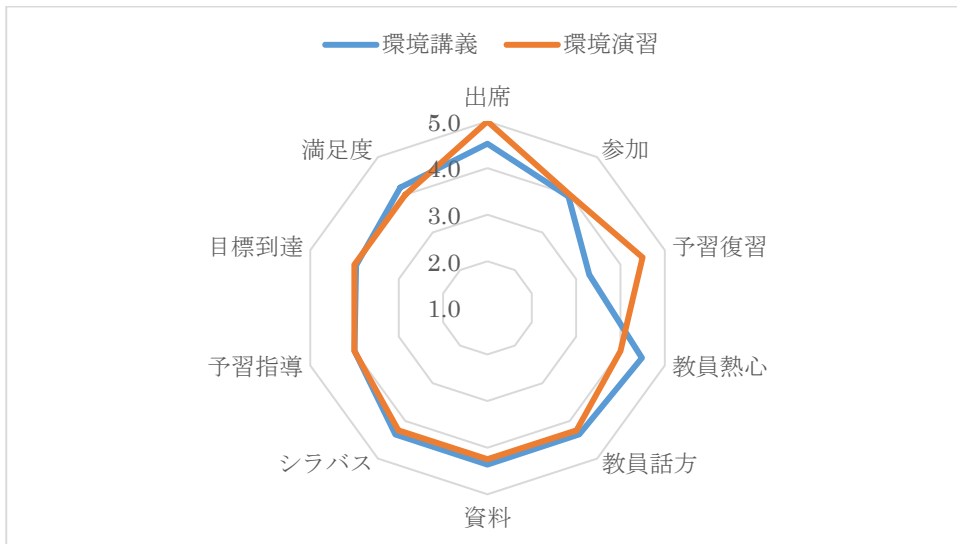
青：強くそう思う、水色：そう思う、緑：どちらとも言えない、ピンク：そう思わない、赤：全くそう思わない

2. 教養科目

[環境科目群]

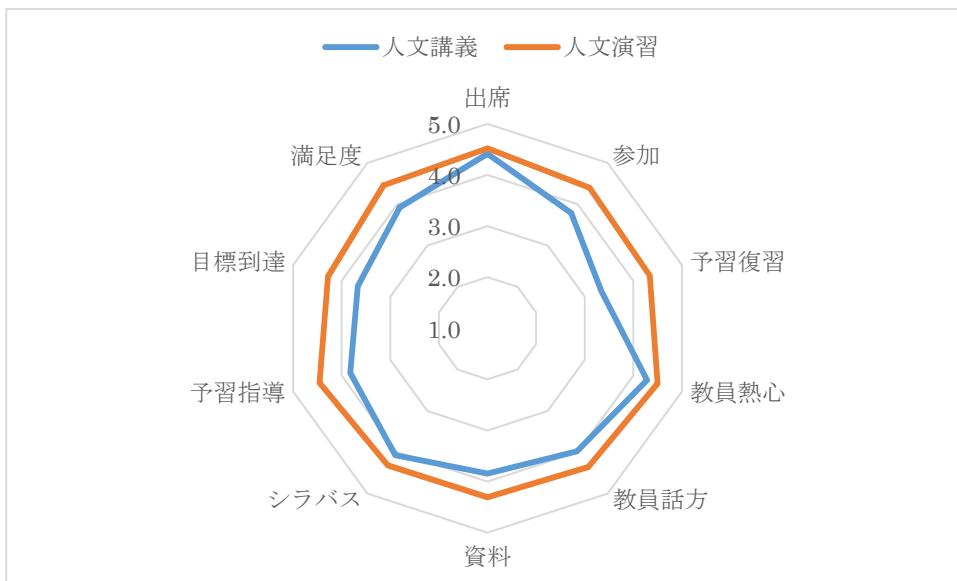
環境科目群では、演習科目のアンケート回収率が低いので一概に比較はできないが、演習科目において、学生は自ら熱心に予習・復習を行っていることがうかがわれる。また、演習科目の学生の出席率は非常に高い。

講義科目はすべての科目の平均的な傾向にほぼ一致している。授業の受講者数と満足度との間には明瞭な相関関係は認められないが、大人数授業においてかなり高い満足度を得ている場合があり、授業においてよい工夫がなされていることがうかがわれる。ただし、全体的に予習・復習に関する指導のポイントが講義科目全体の平均を下回っており、前期の授業と同様、改善を要する。



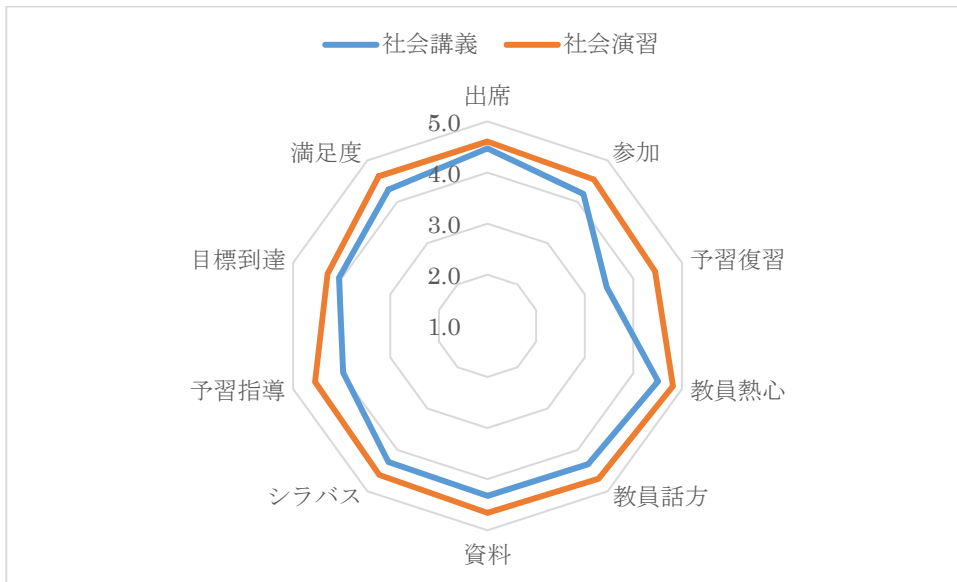
[人文科目群]

当該科目群の[講義]科目の総平均値は 3.91 であり、講義全体の総平均値 (4.11) に比して、やや低調であり、全ての項目について相対的に平均値を下回っている状況である。特に、予習復習の 3.3 および予習指導の 3.8 はアクティブ・ラーニングの重要性が指摘される今日において対応策を講ずべき課題の一つであると言い得る。他方で、[演習]科目の総平均値は 4.39 であり、演習全体の総平均値 (4.44) に比較した場合相対的に低い数値であるというものの、数値それ自体の評価は高いということができ、学生に対するきめ細かな教育指導が行き届いている成果と見て取ることができよう。



[社会科目群]

当該科目群の[講義]科目の総平均値は 4.19 であり、講義全体の総平均値 (4.11) を上回り、かつ、全ての項目について相対的に平均値を上回る結果となっている。他方で、予習復習の categories の項目が 3.5 となっており、他の categories は全て 4 以上であるのに対して唯一 4 を下回る数値となっている。当該 categories が全体の平均値を結果として下げてしまっているため、学生の時間外学習に対して指導の方法の在り方を検討する必要がある。続いて、[演習]科目の総平均値は 4.58 であり、かつ、演習全体の総平均値と比しても全ての項目において数値を上回り、非常に高い評価を得ていることがわかる。相対的に目標達成の categories の項目が他の categories と比して低いのが、これについては目標達成の基準を明確にするとともに、学生に適宜明示することで改善できると思われる。

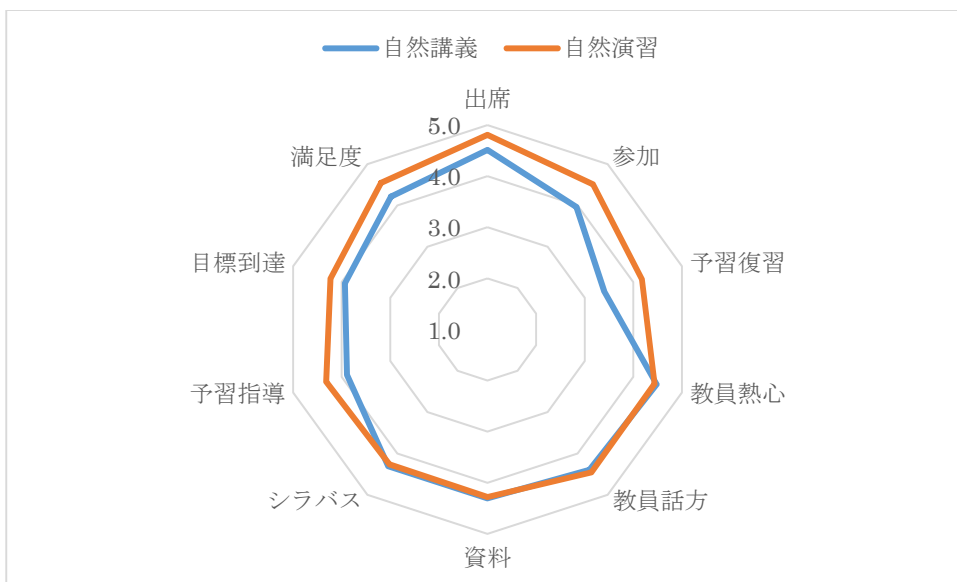


[自然科学群]

自然科学群では、各項目の値は、傾向はすべての科目の平均的な傾向にほぼ一致している。演習科目では、多くの項目において、講義科目を上回っている。とくに学生自ら行う予習・復習、目標到達度、満足度などにおいて評価が高い。

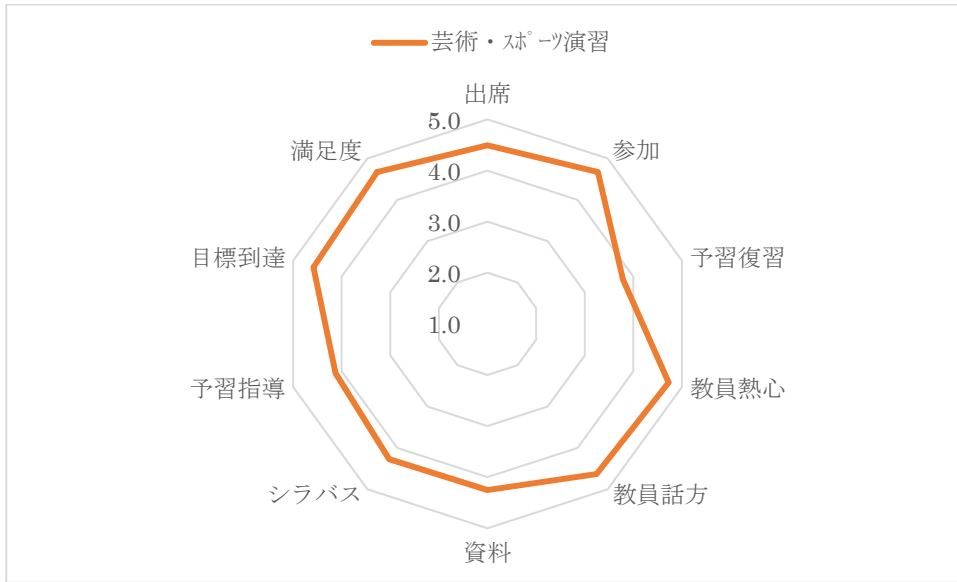
講義科目においては、大人数授業であるにもかかわらず、高い満足度を学生が得ている授業があり、教員により工夫がされていることが伺える。また、教員により、予習・復習の指導がよくなされている授業では、学生は高い満足度を得ているようである。

演習科目では、回答者数が低い科目を除いて、教員により、予習・復習の指導がよくなされている授業では、学生は高い満足度を得ていることが多い。



[芸術・スポーツ群]

芸術・スポーツ群では、後期は全ての授業が演習科目であり、芸術が2クラス、スポーツが4クラスである。全体において平均以上の数字を示している。しかしながら、機構専任教員の回答率が非常に高い値を示している点を除いて、回答者の絶対数が少ないので、数字による傾向分析はあまり意味がないと思われる。



3. 外国語科目

[英語]

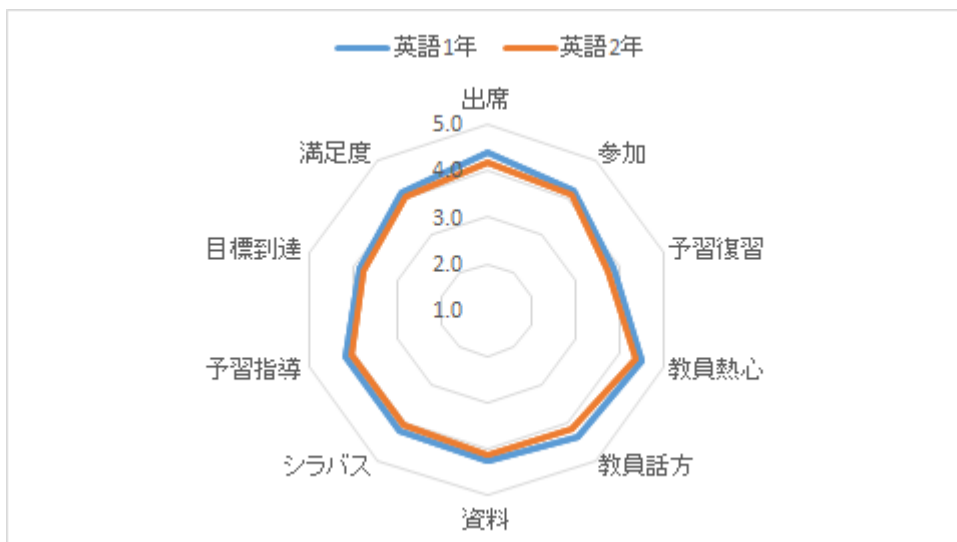
英語1年次総括

1. 受講生自身の評価(出席率(4.4)・熱心度(4.2))は前年同様に非常に高い。そして2. 英語1年次担当教員に対する評価および講義への評価も高い—教員の意欲・熱意に対する評価(教員の熱心度(4.5))・授業の進め方に対する評価(話し方の明瞭さ(4.4)・資料の見やすさ(4.3))。その結果、英語科目(英語1年次)に対して、受講者は概ね満足しているようである(満足度(4.1))。

その一方で、満足度に比して、授業時間外の学習(3.9)と目標到達度が若干低い(3.9)。受講者は英語科目について授業自体には意欲的に取り組み、満足度も高いものの、授業時間外の学習の不足もあって掲げている目標に十分に到達しきれていないことが窺い知れる。

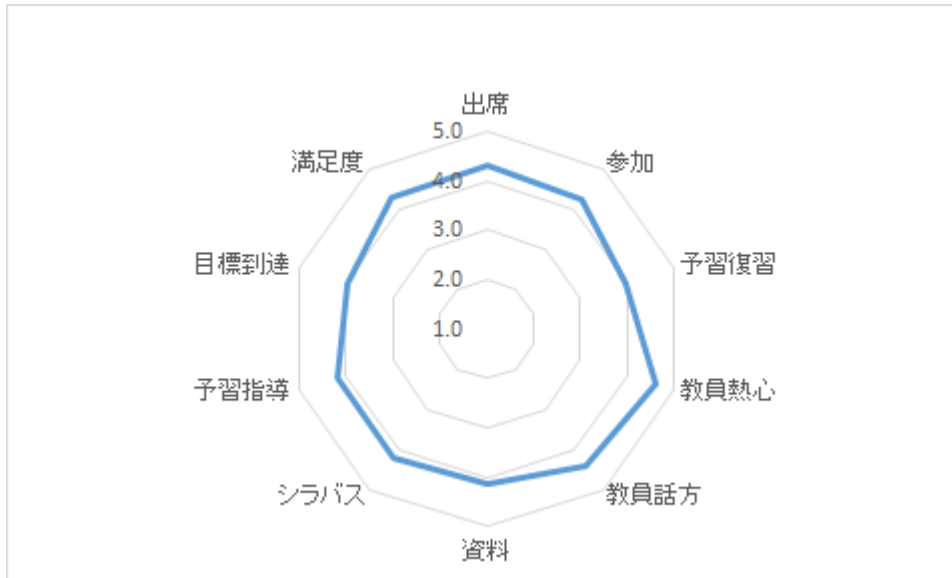
英語2年次総括

1. 受講生自身の評価(出席率(4.2)・熱心度(4.1))は高い。そして2. 英語2年次担当教員に対する評価および講義への評価は、前年に比べ、かなり向上している—教員の意欲・熱意に対する評価(教員の熱心度(4.4))・授業の進め方に対する評価(話し方の明瞭さ(4.2)・資料の見やすさ(4.1))。英語科目(英語2年次)に対しての満足度も、同時期の昨年度の結果(昨年度：満足度 3.9)よりも僅かではあるが向上している(満足度(4.0))。



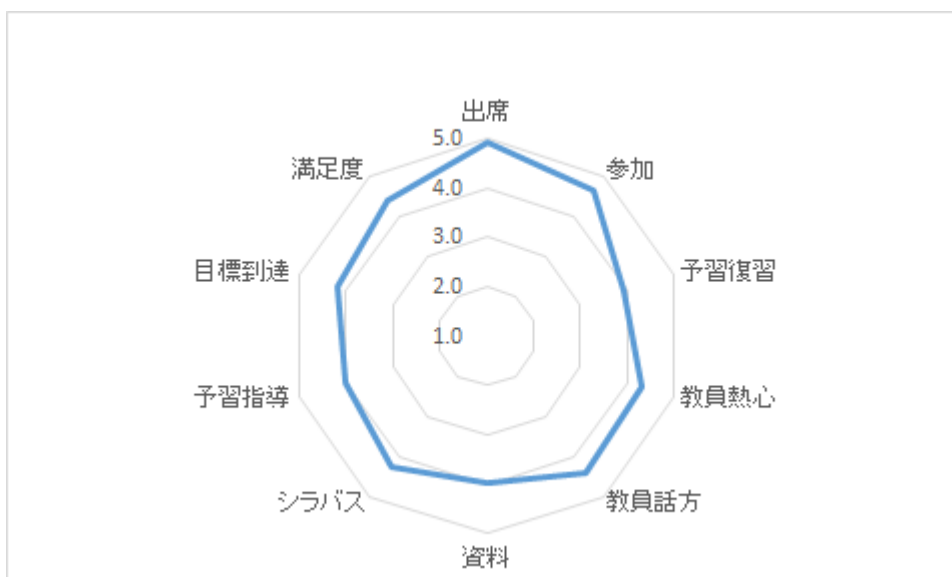
【初修外国語】

出席率①が前期期末の 4.4 から 4.3 に減少した以外は、すべての項目において前期より同等以上の値である。学生自身による予習復習評価③の 4.0 は他科目と比べると低い数字ではないが、初修外国語科目にしては、少し低いと言えるのではないであろうか。教員への評価項目は大体 4 以上で、良好と言える。目標到達⑨が 3.9 で少し低めであるが、ゼロスタートの外国語学習の目標設定における受講生それぞれの違いが大きく影響するところであると思われ、⑨の数字が低めであるというのは目標設定が少し高めになる傾向にあることを示しているのではないだろうか。



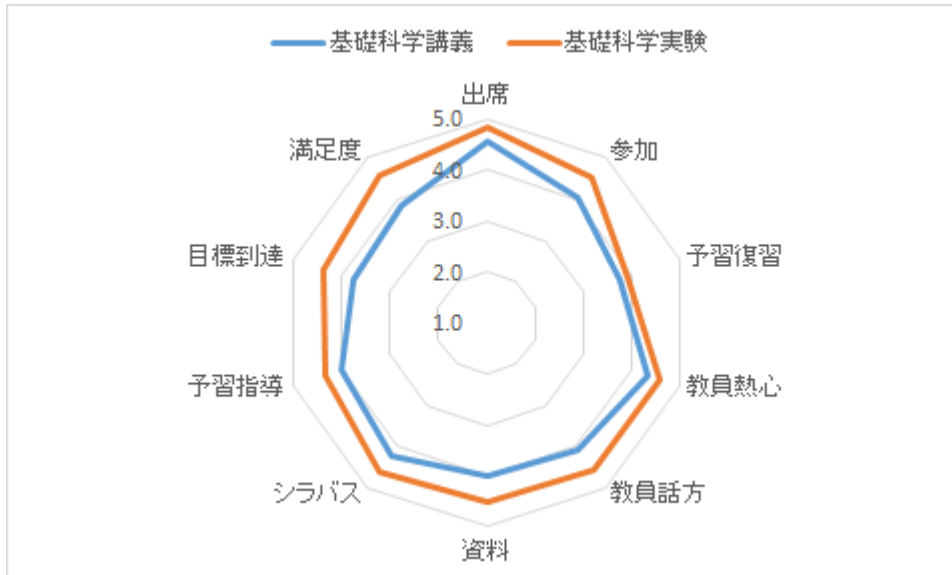
4. 新入生ゼミナール科目

新入生ゼミナール科目は、学部、学科、学系などにより、それぞれ独自の内容、形態で実施されているため、全体の傾向を議論することは難しいが、総じて学生の出席率、熱心度が高く、また予習復習に関係するところが低く評価されている。これらは、そもそも予習復習を課すタイプの活動ではない等、科目の特性、授業の運営形態によるものと思われる。他の演習型の授業と単純に比較することは必ずしも適当ではないかもしれないが、演習型授業の平均値と比べた場合、教員の熱心度と提示資料の見やすさが若干低く評価されている。



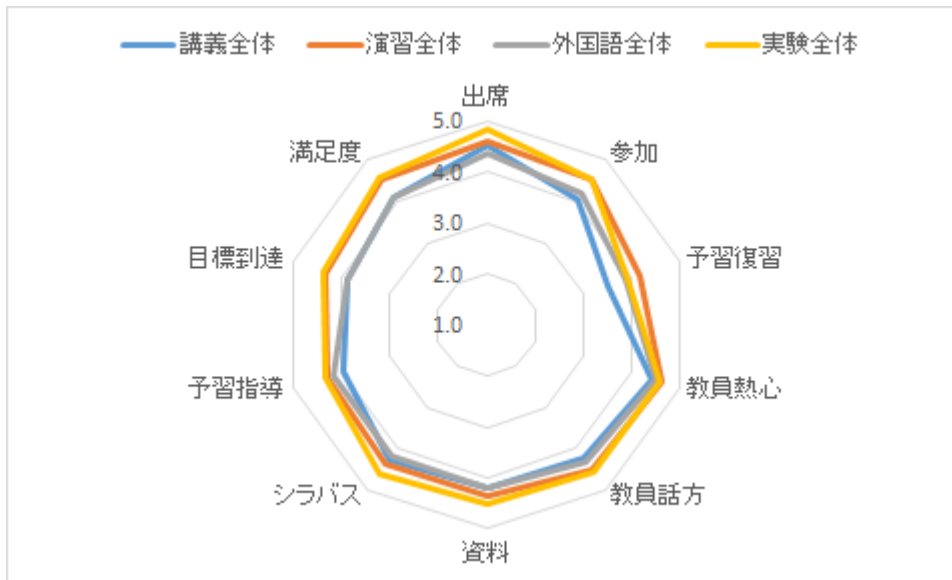
5. 基礎科学科目

基礎科学科目の講義は、講義全体の平均値と比較して「予習復習」が高い値を示している一方、「目標到達」、「満足度」がやや低い値を示している。教員側の項目としては、「資料」が若干低く出ている。実験の授業は、他に比較するものがないが、学生がよく出席し、熱心に取り組んでいるようすが窺える。



6. まとめ

以上、アンケート対象授業を科目群に分けて、評価分析室機構分室委員による分析を示した。科目群は教養科目が、環境科目、人文科目、社会科目、自然科学、芸術・スポーツの5群、外国語科目が、1年次英語、2年次英語、初修外国語の3群、新入生ゼミナール科目と基礎科学科目がそれぞれ1群ずつの合計10群である。群全体を通して見られる傾向は、高い満足度が示されている(環境科目群、自然科学群、1・2年次英語群)一方で、予習復習指導に対する評価は低い(環境科目群、人文科目群、社会科目群、新入生ゼミナール科目群)。予習復習指導に対する評価が低いのは毎年の傾向であるが、学生がさらに指導を要求していることの表れであるとも考えられるので、予習復習指導の充実には常に考慮しなければいけないことであると調査結果は語っていると考えられる。この点に関して、2015年度から各授業の予習復習のポイントがシラバスに記載されることになったので、受講生の積極的な授業参加が期待される。また科目群によっては授業ごとの回答数の大きな違いにより(芸術・スポーツ群)、結果として出てくる数字だけの単純比較はあまり意味がない場合もある。



共通教育授業改善アンケート(2014後期中間) 平均値一覧

集計区分	授業種別	受講登録者数(人)	回答者数(人)	回答率	設問1 学生の出席率	設問2 学生の熱心度	設問3 学生の予習・復習	設問4 教員の熱心度	設問5 教員の話し方	設問6 資料の見易さ	設問7 シラバスに沿った授業	設問8 予習・復習指導
環境科学群	講義	1719	353	21%	4.6	4.1	3.2	4.4	4.2	4.1	4.2	3.6
	演習	75	32	43%	4.8	4.5	4.4	4.6	4.6	4.3	4.7	4.4
人文科学群	講義	1285	303	24%	4.6	4.0	3.3	4.3	3.9	3.7	4.1	3.7
	演習	126	31	25%	4.9	4.5	4.5	4.5	4.5	4.3	4.3	4.5
社会科学群	講義	2467	501	20%	4.7	4.3	3.5	4.5	4.3	4.2	4.2	3.7
	演習	158	36	23%	4.9	4.5	4.2	4.6	4.4	4.3	4.2	3.9
自然科学群	講義	2418	636	26%	4.7	4.1	3.3	4.4	4.3	4.2	4.2	3.7
	演習	157	34	22%	4.9	4.5	4.1	4.4	4.2	4.1	4.2	4.1
芸術・スポーツ群	演習	284	60	21%	4.7	4.6	3.7	4.6	4.6	4.0	4.4	3.8
外国語	英語1年	4114	877	21%	4.7	4.3	4.0	4.4	4.3	4.1	4.2	4.1
	英語2年	1775	147	8%	4.8	4.3	3.7	4.3	4.0	4.0	4.0	4.0
	初修外国語	779	232	30%	4.6	4.3	4.0	4.5	4.3	4.0	4.2	4.1
新入生ゼミナール	演習	165	33	20%	4.8	4.4	4.2	4.2	4.1	3.8	4.3	4.2
基礎科学	講義	3971	918	23%	4.7	4.1	3.8	4.3	3.9	3.9	4.1	3.8
	実験	131	13	10%	4.5	4.4	3.5	4.4	4.1	3.8	4.4	3.2
	講義全体	12017	2848	24%	4.7	4.2	3.5	4.4	4.1	4.1	4.2	3.8
演習全体	965	226	23%	4.8	4.5	4.1	4.5	4.4	4.1	4.3	4.1	
外国語全体	6668	1256	19%	4.7	4.3	4.0	4.4	4.3	4.1	4.1	4.1	
実験全体	131	13	10%	4.5	4.4	3.5	4.4	4.1	3.8	4.4	3.2	

※講義全体には、アンケート実施対象外の教職科目で任意にアンケート実施された講義の人数も含まれています。

共通教育授業改善アンケート(2014後期末末) 平均値一覧

集計区分	授業種別	受講登録者数(人)	回答者数(人)	回答率	設問1 学生の出席率	設問2 学生の熱心度	設問3 学生の予習・復習	設問4 教員の熱心度	設問5 教員の話し方	設問6 資料の見易さ	設問7 シラバスに沿った授業	設問8 予習・復習指導	設問9 目標到達度	設問10 満足度
環境科学群	講義	1719	910	53%	4.5	4.0	3.3	4.5	4.4	4.4	4.4	4.0	4.0	4.2
	演習	58	4	7%	5.0	4.0	4.5	4.0	4.3	4.3	4.3	4.0	4.0	4.0
人文科学群	講義	1285	349	27%	4.4	3.8	3.3	4.3	4.0	3.8	4.1	3.8	3.7	3.9
	演習	126	98	78%	4.5	4.4	4.3	4.5	4.4	4.3	4.3	4.5	4.3	4.5
社会科学群	講義	2467	826	33%	4.5	4.2	3.5	4.5	4.3	4.3	4.3	4.0	4.1	4.3
	演習	123	76	62%	4.6	4.5	4.4	4.8	4.7	4.7	4.6	4.5	4.3	4.6
自然科学群	講義	2345	945	40%	4.5	4.0	3.4	4.5	4.4	4.3	4.3	3.9	3.9	4.2
	演習	157	57	36%	4.8	4.5	4.2	4.4	4.5	4.3	4.3	4.3	4.2	4.5
芸術・スポーツ群	演習	239	95	40%	4.5	4.7	3.8	4.7	4.6	4.3	4.3	4.1	4.6	4.7
外国語	英語1年	4096	1764	43%	4.4	4.2	3.9	4.5	4.4	4.3	4.2	4.2	3.9	4.1
	英語2年	1806	442	24%	4.2	4.1	3.7	4.4	4.2	4.1	4.1	4.0	3.8	4.0
	初修外国語	779	322	41%	4.3	4.3	4.0	4.6	4.4	4.1	4.2	4.2	3.9	4.3
新入生ゼミナール科目	演習	162	23	14%	4.9	4.7	3.9	4.3	4.4	4.0	4.3	4.0	4.2	4.4
基礎科学科目	講義	3972	1637	41%	4.6	4.1	3.8	4.3	4.1	4.0	4.2	4.0	3.7	3.9
	実験	131	51	39%	4.8	4.5	3.9	4.6	4.6	4.5	4.6	4.3	4.4	4.6
	講義全体	11945	4789	40%	4.5	4.0	3.5	4.4	4.2	4.2	4.3	4.0	3.9	4.1
演習全体	892	378	42%	4.6	4.5	4.2	4.6	4.5	4.4	4.4	4.3	4.3	4.5	
外国語全体	6681	2528	38%	4.4	4.2	3.9	4.5	4.3	4.2	4.2	4.2	3.9	4.1	
実験・実習全体	131	51	39%	4.8	4.5	3.9	4.6	4.6	4.5	4.6	4.3	4.4	4.6	

※講義及び演習全体には、アンケート実施対象外の教職科目で任意にアンケート実施された講義の人数も含まれています。